

2025 年 6 月 21 日(土)

## 川崎白門会支部の 2025 年度の

総会・車椅子贈呈・学術講演会・懇親会が盛大に開催されました！！

今年度、川崎支部は、当番幹事として神奈川県合同白門会を同時開催しました。

今年度の総会・懇親会は、2025 年 6 月 21 日(土)；武蔵小杉精養軒にて開催しました。

当番幹事支部として神奈川県合同白門会：県下 10 白門会（横浜・藤沢・茅ヶ崎・平塚・小田原・相模原・大和・厚木・逗葉は欠席）・多摩川を挟んだ友好交流支部として東京世田谷区支部・東京大田・品川区支部の出席者を含め総勢 88 名が参加して実施しました。

社会貢献活動の一環として毎年実施している車椅子の贈呈式には福田紀彦川崎市長様にご来席を頂き目録を贈呈した。川崎市からは感謝状を受領しました。

下記の写真は、川崎支部の松木支部長が福田紀彦川崎市長に車椅子の目録を贈呈し、感謝状を受領した時のものです。



今年度の学術講演会では、中央大学理工学部応用化学科小松晃之教授が、人口血液についての最先端技術について、100名の聴講者を前にお話しをされました。小松教授は、医療に革命を起こす可能性を持つ人工酵素運搬体(ヘモアクト)の生みの親であり、血液型の無い人口血液の実用化を目指し、日々研究に情熱を注いでいらっしゃいます。本後援会では、多くの質問が出ました。

下記は、講演時の小松教授



下記は、講演時の多くの聴講者の写真



合同白門会の懇親会では、一龍齋貞奈講談師(下記写真)が流暢な司会進行と新作講談を披露しました。



下記写真は、合同白門会懇親会でのもの

